

景況レポート

(8月分・情報連絡員80名)

消費税増税前の駆け込み需要が 製材・建設・建築資材などが好調

【概況】8月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが25.0% (前月調査15.2%)、「悪化」が27.5% (同34.2%)で、業界全体のDI値は-2.5と、前月調査と比較して16.5ポイント上回り、3ヶ月連続の改善で平成9年4月以降の最高値となった。

内訳として、製造業全体のDI値は3.2で前月調査と比較して16.1ポイント上回り、非製造業全体のDI値は、-6.3で前月調査と比較して16.6ポイント上回った。

消費税増税前の駆け込み需要と思われる民間建設工事や個人住宅の建築が増えており、鉄鋼、木材・木製品、建設、建築資材関係が好調で、公共工事の発注も始まるなど、好材料が目立つ一方で、円安、原油高の影響によるコストアップ分が収益を圧迫し、低調に推移している業種も多く、業種間でバラツキが見られる。さらに、電気料金が値上げされたことから、先行きは楽観できない状況にある。

(回答数：80名 回答率：100%)

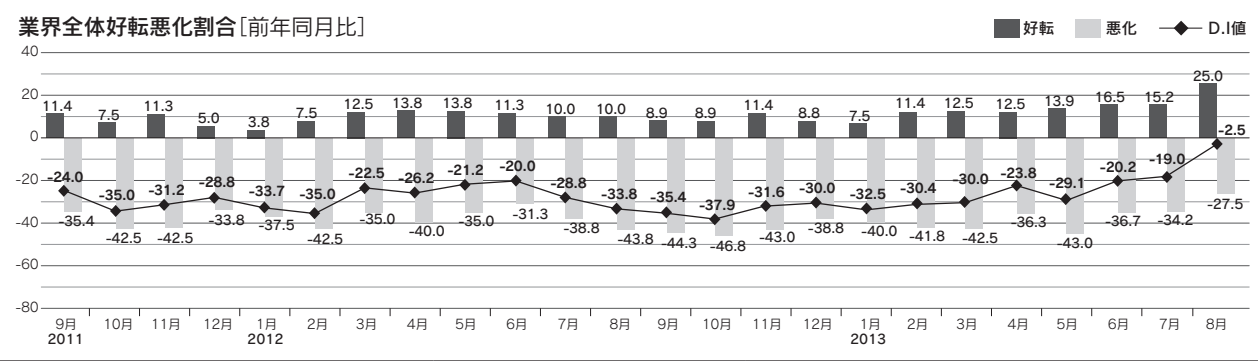
項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☁	☁	☁	☁	☔	☔
非製造業	☁	☁	☁	☔	☔	☁

【凡例】

快晴 30以上	晴れ 10以上 30未満	曇り △10以上 10未満	雨 △30超 △30以下	雷雨 △30以下

【天気図の見方】
前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加 (好転) したとする企業割合から、減少 (悪化) したとする企業割合を差し引いた値です。



業界の声

- 製麺** 小麦粉等の原材料が高騰しているが、価格転嫁できずにいるうちに10月にはさらに4.1%の値上げが決定した。加えて、天候の影響もあり、業況は厳しい。
- 繊維製品** 原材料や資材の納入遅れや、売れ筋商品が絞りにくいために発注ロットが減少傾向にある。また、専門店、量販店とも上代アップが見込めなくて、全体的に閉塞感が見られる。
- 木材・木製品** ・土木資材の売上は先月同様好調であり、今後も期待が持てる。
・建築現場では、職人不足による工事遅延も見られるが国産合板は依然としてメーカー在庫量が少なく、先行き需要増の予測から価格は強含みとなっている。
- 機械金属** 7月末頃から受注が急増したようで、各社ともフル稼働となっており一部では生産が間に合わないとの声も聞かれた。今年いっぱいの仕事がほぼ確定している状況となっている。
- 生コン** 8月の出荷数量は前年同月比119.8%、4月～8月の累計では前年比109.9%となっており、今年度の需要想定よりも5%前後のアップになると予想される。
- 商業卸** 住宅関連卸売業では多少の好況感が感じられる。
- 自動車販売** 8月の新車販売台数は、登録自動車1,748台(前年同月比91.9%)、軽自動車が2,210台(同122.7%)で、合計3,958台(同106.9%)であった。今月は、軽自動車が登録車を大幅に上回り、軽自動車の好調さが目立った。
- 石油販売** ガソリン1ℓあたり158円10銭で前月比80銭の上昇、軽油1ℓあたり138円30銭で前月比30銭の上昇、配達灯油は18ℓで1,814円と前月比1円の上昇と、横這いで高止まりの状況だが、小売価格については転嫁不足で収益が悪化している。
- 型枠工事** 県内全域で稼働率が高く、施工単価も上昇している。来春の消費税アップを見込んでの民間建築工事発注が多く、単価上昇率でも民間工事が公共工事をかなり上回っており、公共工事のレスポンスの悪さが露呈している。
- 電気工事** 消費税増税前の駆け込みか、一般住宅の受注が増加してきている。秋田県発注の建築工事も増加して、雇用人員は増加しているが、電気工不足が目立っている。
- トラック** 飲料等を中心に夏季需要は動きが好調だった。しかし、燃料価格が5年ぶりの高値となり、運賃は上昇しないため、採算割れとなる場合が増えている。